

令和3年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）①

令和3年9月22日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和3年度行政評価・外部評価① 「地域振興事業」【たつせがある課】
開催日時	令和3年9月22日（水） 午後2時から午後3時まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>&lt;外部評価実施者（行政改革推進委員）&gt; 石橋健一、田村佳子、樋口和則、細萱健一、安立憲市</p> <p>&lt;担当課&gt; くらし文化部長 浦川 正、 同部次長兼たつせがある課長 磯村和慶、 課長補佐兼地域協働係長 堤 健二</p> <p>&lt;事務局&gt; 総務部次長 福岡隆也、行政課長 若杉雅弥、 課長補佐 伊藤 愁、庶務係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	7人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会の設立時期が未定の2小学校区（長小、東小）についても、早く設立できるよう取り組むべき。</li> <li>・地域によって特色があり、違いがある。まちづくり組織を作ることも必要だが、ネットワークが重要であり、既存の団体をつなげる仕組みづくりが目標だと思うが、成果目標の設定は、確かに難しいが検討が必要ではないか。</li> <li>・既存のまちづくり協議会には、活動する担い手が少なく、結果として役員が大変な思いをしているように感じる。</li> <li>・まちづくり協議会の認知度は、まだまだ不十分だと感じているので、市も周知に努めて欲しい。</li> <li>・成果指標であるまちづくり協議会の設立及び運営の支援に頑張りたいという思いは分かるが、本来、市が地域に何を期待しているかが、うまく市民に伝わっていないように感じる。</li> <li>・まちづくり協議会の自立した運営を目指すためには、職員が出過ぎてしまうとうまくいかない。市民が主体的に取り組む</li> </ul>
-----------------	---

	<p>ための支援が難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動においては、実際に活動するのは個々の団体や個人である。まちづくり協議会の役割は後方支援であるべきであり、うまく地域を動かすコーディネーターの役割に徹することで、本来の目的に近づいていくのではないか。</li> <li>・協議会主体で実施した活動の件数やその参加人数、解決した課題数などの活動実績が指標になるかと思う。まちづくり協議会の位置づけや既存の自治会との関係も不明確なことから、市がこのように運営したいというモデルケースを示して、設置に向けた議論を具体化する必要があると考える。</li> <li>・市として、今後はまちづくり組織を中心に地域コミュニティを醸成させていくという感じを強く受けるところであるが、既存の地域団体等への目配りも必要と感じる。</li> </ul>
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<p>事業意図（地域課題の発掘、解決に向けた活動）をどのように実現するのか、言葉だけではなかなか伝わらないので、成果指標の設定も見直しの検討が必要。</p> <p>同時に成功事例を示しながら、繰り返し丁寧に伝えていくことが重要。</p>
---------------	--